

学校だより

希望 共生 個性



かないずみ

令和5年12月4日 NO.7 佐渡市立金泉小学校

「考える力」を育てる

校長 矢嶋 義宏

学習は、子どもたちが社会の中でよりよく生きるために必要な力を身に付けるために行います。したがって社会が変化すれば、学習の中で大切にすべきこともおのずと変わってきます。以前は、知識を身に付けることが中心に置かれていました。どれだけたくさんの量を覚えたかということです。しかし、現代の社会では、携帯電話やタブレット等の機器が広く普及し、日常生活の中で、分からない漢字や言葉の意味があればすぐに調べることができ、複雑な計算も簡単に行うことができます。はっきりしなかったり、手間がかかったりすることをコンピュータが補ってくれるようになったのです。

そこで、今、学習の中で特に大切になることは、すでにもっている知識を使って、新たな知識を生み出していく際に発揮される「考える力」となります。新たに発見していく力といってもいいでしょう。

3年算数の小数の学習で、「1L升と0.1L升を使って、水槽の中に2.8Lの水を量る」という学習活動を行っていました。特に、「1L升と0.1L升に何回ずつ水を汲むとよいのか」ということが問題の中心となりました。子どもたちは「0.1が10集まると、1になる」という知識は身に付けていました。この知識をどう使って考えるかがポイントとなります。担任の松島先生が「いくつか方法があるから、たくさん方法を見付けよう」と投げかけました。



0.1Lの水を水槽に注ぐ様子

すぐに子どもたちは、「①1L升2杯と0.1L升8杯」「②1L升1杯と0.1L升18杯」「③0.1L升28杯」の3つの方法を考えつきました。そして、「もう方法はない」と言いました。すると、松島先生が「例えば、③の方法は0.1L升を28杯だから、28回も汲まなきゃいけなくて大変だよ。実はね、5回で済む方法があるんだよ。」と言うと、子どもたちの表情が変わりました。それまでの①～③の「升に汲んだ水を水槽に何度か入れて、水の量を増やしていくことで2.8Lにする」という方法では、5回という制限をクリアするには限界があると感じたからです。

しばらくすると、「わかった！1L升3杯入れて、そこから0.1L升2杯分減らせばいい。」とAさんが言いました。聞いただけではその考えの意図がはっきりしないので、実際にその方法で試してみることにしました。すると、次第にその考えがイメージでき、そして、この方法でも確かに2.8Lを量ることができました。「水の量を増やしていくことで2.8Lにする」という方法だけでなく「水を多めに入れて、不要な分を減らすことで2.8Lにする」という新たな方法を発見したのです。Aさんの考えの確かさを確認し合い、分かったことが増えたことで、子どもたちは満足そうな表情になりました。

授業を参観していて、子どもたちが自ら創造的に考えを広げ、深めていく姿に、たのもしさを感じます。未来をつくる子どもたちに必要な力は何か、またそのために何をすべきかを考えながら、金泉小学校の教育活動をつくっていきたいと考えます。

12・1月の主な予定



【12月】

- 5日 (火) クラブ⑦
- 6日 (水) 全校朝会
- 7日 (木) 金泉っ子まつり
- 11日 (月) 諸費納入日
- 12日 (火) 地域子ども会
- 14日 (木) パワーアップタイム
- 15日 (金) 音楽朝会
- 19日 (火) 全校5限後下校
- 20日 (水) 全校給食後下校
- 21日 (木) 全校給食後下校
- 22日 (金) 終業式・給食なし

【1月】

- 9日 (火) 始業式・給食後下校
- 10日 (水) 校内書き初め大会
- 11日 (木) 身体測定
- 16日 (火) 委員会⑮
- 18日 (木) 授業参観
5年保護者会
- 19日 (金) 児童朝会
- 23日 (火) クラブ⑧ (3年生見学)
- 24日 (水) NRT学力検査 (算)
- 25日 (木) NRT学力検査 (国)
- 30日 (火) 全校5限後下校

11月の活動の様子



曾我ひとみさんによる講話



1・2年生 命の授業



不審者避難訓練



5・6年生 メディア講演会